

2024年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン 上場取引所 東
 コード番号 8253 URL https://www.saisoncard.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役(兼) 社長執行役員COO (氏名) 水野 克己
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 担当(兼) (氏名) 三坂 直樹 TEL 03-3988-2110
 定時株主総会開催予定日 2024年6月19日 配当支払開始予定日 2024年6月20日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 純収益 | | 事業利益 | | 税引前利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 当期包括利益 合計額 | |
|----------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|------|----------------------|------|---------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 361,604 | 12.1 | 71,941 | 18.0 | 97,952 | 60.5 | 73,285 | 67.1 | 72,987 | 67.4 | 94,282 | 103.5 |
| 2023年3月期 | 322,638 | 7.9 | 60,977 | 16.5 | 61,044 | 22.2 | 43,861 | 23.2 | 43,599 | 23.2 | 46,325 | 19.8 |

| | 基本的1株当たり 当期利益 | | 希薄化後 1株当たり当期利益 | | 親会社所有者帰属持分 当期利益率 | | 資産合計 税引前利益率 | | 純収益 事業利益率 | |
|----------|------------------|---|-------------------|---|---------------------|---|----------------|---|--------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | % | % | % | % | 円 | % |
| 2024年3月期 | 453.08 | | 452.69 | | 11.2 | | 2.4 | | 19.9 | |
| 2023年3月期 | 278.92 | | 278.75 | | 7.5 | | 1.6 | | 18.9 | |

(参考) 持分法による投資損益 2024年3月期 29,262百万円 2023年3月期 5,982百万円

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | | 資本合計 | | 親会社の所有者に 帰属する持分 | | 親会社所有者 帰属持分比率 | | 1株当たり親会社 所有者帰属持分 | |
|----------|-----------|---|---------|---|--------------------|---|------------------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | % | % | 円 | 銭 |
| 2024年3月期 | 4,335,852 | | 717,611 | | 705,053 | | 16.3 | | 4,323.36 | |
| 2023年3月期 | 3,896,105 | | 600,041 | | 598,301 | | 15.4 | | 3,827.22 | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 期末残高 | |
|----------|----------------------|---|----------------------|---|----------------------|---|-------------------|---|
| | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 |
| 2024年3月期 | △213,404 | | △85,754 | | 246,699 | | 108,745 | |
| 2023年3月期 | △130,092 | | △43,828 | | 224,536 | | 159,671 | |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------------|-------------------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| 2023年3月期 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 百万円 | % | % |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 70.00 | 70.00 | 10,948 | 25.1 | 1.9 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | 105.00 | 105.00 | 17,288 | 23.2 | 2.6 |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 105.00 | 105.00 | | 32.9 | |

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 純収益 | | 事業利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 当期利益 | |
|----|---------|------|--------|-----|----------------------|-------|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 413,000 | 14.2 | 77,000 | 7.0 | 52,000 | △28.8 | 318.86 | |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(6) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期 | 185,444,772株 | 2023年3月期 | 185,444,772株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期 | 22,364,710株 | 2023年3月期 | 29,116,888株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年3月期 | 161,090,850株 | 2023年3月期 | 156,318,454株 |

(注) 1 持分法適用会社が所有する当社株式の当社帰属分を自己株式数に含めております。

(期末自己株式数：2024年3月期 1,575,365株、2023年3月期 78,470株)

2 基本的1株当たり当期利益(連結)の算定上の基礎となる株式数については、添付資料15ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(6) 連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご参照下さい。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 283,868 | 6.7 | 37,873 | 12.6 | 46,158 | 6.3 | 35,924 | 5.0 |
| 2023年3月期 | 266,103 | 5.4 | 33,622 | 55.2 | 43,424 | 42.7 | 34,220 | 56.2 |

(参考) 取扱高 2024年3月期 10,311,531百万円 2023年3月期 9,666,571百万円

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| 2024年3月期 | 円 銭 221.60 | 円 銭 — |
| 2023年3月期 | 218.81 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-----------|---|---------|---|--------|---|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 2024年3月期 | 3,933,236 | | 532,483 | | 13.5 | | 3,233.93 | |
| 2023年3月期 | 3,665,162 | | 483,683 | | 13.2 | | 3,092.48 | |

(参考) 自己資本 2024年3月期 532,483百万円 2023年3月期 483,683百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|-----|--------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 303,000 | 6.7 | 42,500 | 12.2 | 48,000 | 4.0 | 34,000 | △5.4 | 206.49 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 財政状態及び経営成績に関する説明 (b) 次期の見通し」をご参照下さい。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社では、ホームページにて、事業・業績に関する補足説明資料及び決算短信の英訳(要約版)を提供しております。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 財政状態及び経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 5 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結財政状態計算書 | 6 |
| (2) 連結損益計算書 | 7 |
| (3) 連結包括利益計算書 | 8 |
| (4) 連結持分変動計算書 | 9 |
| (5) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (6) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (表示方法の変更) | 12 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (非金融資産の減損) | 14 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |
| 4. 個別財務諸表 | 16 |
| (1) 貸借対照表 | 16 |
| (2) 損益計算書 | 18 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 19 |
| 5. その他 | 21 |
| (1) 役員の異動 | 21 |
| (2) その他 | 21 |

1. 経営成績等の概況

(1) 財政状態及び経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復が続いております。一方、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分に留意する必要があります。

当社は「サービス先端企業」を経営理念に、お客様の利便性を徹底的に追求し、系列や業態などの枠組みを超えた多様な提携パートナーとともに革新的なサービスを創造し続けております。当社グループを取り巻く経営環境は、海外景気の下振れがわが国経済に与える影響や金融資本市場の変動影響に留意が必要な状況であることに加えて、先進的テクノロジーの活用や異業種参入によって新たな金融サービスが次々と創出されるなど、企業間競争が激しさを増すものと予想されます。このような経営環境の中、当社グループは、『総合生活サービスグループへの転換～リアルとデジタルの融合でカスタマーサクセスを実現～』を中期経営ビジョンとして掲げ、「Innovative」「Digital」「Global」を基本コンセプトとした、「総合生活サービスグループ」への転換に向けて、グループや提携先と「セゾン・パートナー経済圏」の確立に注力し、グループ企業間の事業シナジーによる他社にはない価値の創造を目指しております。加えて、お客様のあらゆる困りごとを、親切に適切に素早く解消することで顧客満足度向上に努めております。既存事業においては、「ペイメント事業の再生」「ファイナンス事業の健全な成長及び新たな事業領域への進出」「グローバル事業の展開加速」を重点方針とする成長戦略を実行し、更なる成長拡大を図っております。

また、当社は2021年9月に策定したデジタルトランスフォーメーション戦略(CSDX戦略)における取り組みが評価され、2023年5月に経済産業省と東京証券取引所が選定する「デジタルトランスフォーメーション(DX銘柄)2023」に選定されております。2023年12月にシステム開発プロセスでの成果や課題を踏まえ、全社員がDX推進に携わることができる新たな開発体制の構築を目指し、CSDX戦略をアップデートいたしました。社員が自ら手挙げて参加でき、データ活用などのデジタル技術に関する知識を習得するデジタル認定制度の開講や、事業ごとの特性や解決したい課題内容に合わせて、専門的な知識やスキルが不要な「ノーコード・ローコード開発」を活用していく体制の構築を目指してまいります。また、文章の要約や企画アイデアの検討に役立つAIアシスタント「SAISON ASSIST」を内製開発し、全社員を対象に提供することで、生成AIの活用を軸とした業務プロセスの見直しや新たなサービス創出に向けた取り組みを開始しております。

今後、更なる感動体験の創出に向けて、デジタルを活用した新たなお客様体験の提供や、デジタル人材によるイノベーションの創出に向けて取り組んでまいります。

さらに、バンクとノンバンク双方の強みを融合させた新しいビジネスモデルを創出することで、両社の中長期的な企業価値の向上を目指すべく、2023年5月にスルガ銀行㈱と資本業務提携契約を締結いたしました。2023年10月よりスルガ銀行㈱が取り扱う住宅ローンの保証を当社が行う取り組みを開始し、さらに、スルガ銀行㈱を所属銀行とする銀行代理業委託契約を締結し、2024年3月よりスルガ銀行㈱の住宅ローンの取り扱いを開始しております。今後も両社のリテールノウハウを最大限活用し、金融分野におけるあらゆる「困りごと」や「不」(不安、不便、不満等を意味します。)の問題に対するソリューションの提供を目指してまいります。

2023年8月より、CO2排出量削減に向けコールセンター機能・オペレーション業務を行う「東京ユビキタスビル」における使用電力の全量について、トラッキング付非化石証書を活用した実質再生可能エネルギー由来100%の電力への切り替えを実施しており、これらの導入により、当社が2022年6月から開示を始めた「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言に沿った情報開示」における当社グループ6社の2030年GHG排出量削減目標42%のうち12%を削減できる計画となっております。加えて、2021年8月のサステナビリティ推進委員会設置以降、サステナビリティ重要課題の設定、TCFD提言への賛同及びTCFDコンソーシアムへの参画など、グループ全体で事業を通じた社会・環境課題解決への取り組みを強化した結果、当社は、世界最大規模の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用しているESG総合指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初めて選定されました。今後も、グループ全体でさらにサステナビリティ領域の取り組みを深耕させ、今よりもっと便利で豊かな持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行されたことに伴い、経済活動の回復、個人消費の持ち直しの動きが続き、「ペイメント事業」「ファイナンス事業」「グローバル事業」が伸長した結果、純収益は3,616億4百万円(前期比12.1%増)、事業利益は719億41百万円(前期比18.0%増)、スルガ銀行㈱への持分法適用開始に伴う負のれん発生益の影響等により親会社の所有者に帰属する当期利益は729億87百万円(前期比67.4%増)となりました。

(a) 経営成績

当連結会計年度における経営成績は次のとおりです。なお、純収益は収益から原価を控除して算出した指標であり、事業利益は当社グループが定める経常的な事業の業績を測る利益指標です。

| | (単位:百万円) | | | (単位:円) | |
|---------|----------|--------|--------|------------------|--------------|
| | 純収益 | 事業利益 | 税引前利益 | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 基本的1株当たり当期利益 |
| 当連結会計年度 | 361,604 | 71,941 | 97,952 | 72,987 | 453.08 |
| 前連結会計年度 | 322,638 | 60,977 | 61,044 | 43,599 | 278.92 |
| 伸び率 | 12.1% | 18.0% | 60.5% | 67.4% | 62.4% |

当連結会計年度におけるセグメントの業績は次のとおりです。

なお、当連結会計年度より、今後のグローバル展開拡大への取り組みに伴い、損益管理区分の見直しを行い「ペイメント事業」に含まれていたグローバル展開に関する事業及び関係会社について「グローバル事業」として独立して記載する方法に変更し、さらに、各セグメントの業績をより適切に評価するために、金融費用の配賦方法を変更し、合理的な基準に基づき各報告セグメントへ配賦しております。上記セグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に組み替えて表示しております。

(単位:百万円)

| | 純収益 | | | 事業利益 | | |
|-----------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|--------|
| | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 伸び率 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 伸び率 |
| ペイメント | 220,222 | 235,237 | 6.8% | 10,141 | 19,270 | 90.0% |
| リース | 12,049 | 12,544 | 4.1% | 5,182 | 4,355 | △16.0% |
| ファイナンス | 50,754 | 58,502 | 15.3% | 22,211 | 28,265 | 27.3% |
| 不動産関連 | 24,177 | 23,942 | △1.0% | 13,064 | 16,407 | 25.6% |
| グローバル | 11,368 | 27,208 | 139.3% | 9,039 | 2,478 | △72.6% |
| エンタテインメント | 6,214 | 6,319 | 1.7% | 719 | 1,079 | 50.1% |
| 計 | 324,786 | 363,754 | 12.0% | 60,359 | 71,856 | 19.0% |
| 調整額 | △2,148 | △2,150 | — | 618 | 84 | — |
| 連結 | 322,638 | 361,604 | 12.1% | 60,977 | 71,941 | 18.0% |

(注) 各セグメントの純収益及び事業利益は、セグメント間取引消去前の数値を記載しております。

<ペイメント事業>

他社のポイント戦略や異業種参入などにより競争環境が激化しているペイメント事業において、AMEXブランド拡販に加えて、新たなカードビジネスモデルの確立としてGOLDカード戦略に重点を置き、ペイメント事業の強化に取り組んでおります。個人領域においては、お客様に選ばれるメインカードを目指し、当社の強みである幅広いライアンスに「新たなロイヤリティサービス」を加え、新プロダクトとして、2022年7月より「SAISON GOLD Premium」、2023年3月より「JQ CARDセゾンGOLD」の募集活動を本格化しております。また、公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」という。)と、2023年から8年間の「JFA メジャーパートナー」契約を締結し、既に発行しているサッカー日本代表を応援するクレジットカード「JAPANカードセゾン」を、2023年11月にさまざまなサービスが加わった新たなクレジットカード「SAMURAI BLUE カード セゾン」にリニューアルして新規募集を開始いたしました。また、2024年1月よりセゾン投信㈱と連携し、セゾン投信㈱が提供する投資信託の積立投資を、当社発行のセゾンカード・UICカードで決済できるサービスを開始いたしました。さらに、2024年1月より、大和コネク証券㈱と連携し提供している当社発行のクレジットカードでの積立投資サービスの上限額を、新NISA制度移行後の非課税保有限度額拡大に合わせて拡大いたしました。法人領域においては、SME (Small and Medium Enterprises: 中小企業) マーケットに資源を投下し、ビジネスカードと法人関連商材のクロスセルの取り組みを加速させることで法人マーケットのシェア拡大を目指しております。

<今年度の新たな取り組みの一例>

- 2023年4月より、お客様ご自身やご家族の将来のためになる終活に関するさまざまな困りごとや悩みごとを気軽に相談いただけ、お客様へ適切な解決策を提供するトータルサポートサービス「セゾンの相続」を提供開始
- 2023年5月より、順天堂大学医学部附属順天堂医院と連携し、先進の遺伝関連ドックや会員様一人ひとりに綿密な医療サポートを行う会員制医療クラブ「セゾンマイドクター」を設立し、会員募集を開始
- 2023年7月より、ブロードマインド㈱と連携し、オンライン上でファイナンシャルプランナーの指名や面談予約ができるオンラインFPショップ「セゾンのマネナビ」を提供開始
- 2023年9月より、スマートフォンを活用した新たな顧客コミュニケーションの創出を目的に、「もっと身近にセゾンカードを。」をコンセプトとしたセゾンカードLINE公式アカウントを開設。ご利用状況の確認や各種お手続きがLINE上で可能なサービスを提供開始
- 2023年11月より、JFAと連携して「JAPANカードセゾン」をリニューアルし、カード会員様限定のチケット販売枠ご案内や限定イベントへのご招待など、利用額に応じた特典を提供する「SAMURAI BLUE カード セゾン」の募集を開始
- 2023年12月より、これから増加が見込まれる外国人留学生や労働者など、日本に在住される外国籍の方のニーズに応えるため、母国語による言語サポートや、スルガ銀行㈱と連携し「外国籍のお客様専用銀行口座」をご案内できる家賃保証プラン「セゾンの家賃保証・外国籍プラン」を提供開始
- 2023年12月より、スルガ銀行㈱にて法人のお客様を対象に、業務効率化や、資金繰り、未回収リスクの改善にお応えできるよう開発した、後払い決済・請求代行サービス「セゾンインボイス」の紹介業務を開始
- 2024年1月より、セゾン投信㈱と連携し、セゾン投信㈱が提供する投資信託の積立投資を、当社発行のクレジットカードで決済できるサービスを開始
- 2024年1月より、大和コネク証券㈱と連携し、提供している当社発行のクレジットカードでの積立投資サービスの上限額を、新NISA制度移行後の非課税保有限度額拡大に合わせて拡大し提供開始
- 2024年1月より、管理会社への早期精算と入居者様の多様な支払方法のニーズに応えるべく、賃貸物件の入居初期費用をカード決済できるサービス「セゾンの住まい決済サポート」を提供開始
- 2024年2月より、スルガ銀行㈱にて、中小企業の事業者を対象に、企業の福利厚生サービスとして、全国25,000以上の施設を割引価格で使える充実した「セゾンフリコ」の紹介業務を開始

上記のような諸施策に取り組んだ結果、当連結会計年度における主要指標は、新規カード会員数は172万人(前期比1.2%増)、カード会員数は2,462万人(前期末比1.6%減)、カードの年間稼働会員数は1,372万人(前期比0.7%減)となりました。また、ショッピング取扱高は5兆6,876億円(前期比7.6%増)、カードキャッシング取扱高は1,659億円(前期比1.7%減)、ショッピングのリボルビング残高は4,534億円(前期末比10.8%増)、カードキャッシング残高は1,897億円(前期末比3.6%増)となりました。

当連結会計年度における純収益は、2,352億37百万円(前期比6.8%増)、事業利益は192億70百万円(前期比90.0%増)となりました。

<リース事業>

事業者の設備投資計画に合わせ、OA通信機器や厨房機器などを中心に営業を推進しております。既存主力販売店への営業活動深耕・関係構築に加え、新商品であるメンテナンス付リースの取扱高が好調に推移し、当連結会計年度における取扱高は1,468億円（前期比15.8%増）、純収益は125億44百万円（前期比4.1%増）となりました。一方、市況の変化に伴い貸倒コストが増加した結果、事業利益は43億55百万円（前期比16.0%減）となりました。

<ファイナンス事業>

信用保証事業、ファイナンス関連事業から構成されております。信用保証事業では、金融機関向け「住宅ローン保証」が好調に推移し、保証商品のラインナップを広げるとともに、地域金融機関等とのきめ細かな連携体制の構築に努めました。その結果、当連結会計年度における保証残高（金融保証負債控除前）は5,577億円（前期末比30.6%増）、提携先数は合計で404先（前期末差2先増）となりました。

ファイナンス関連事業では、「フラット35」及び「セゾンの資産形成ローン」については従来同様、良質な資産の積み上げに取り組みました。「フラット35」については、長期金利上昇に伴い固定金利型住宅ローン市場の融資実行金額が、前期比として56.1%減少する中、当連結会計年度の実行金額は1,204億円（前期比31.6%減）、サービシング債権残高等は1兆3,734億円（前期末比2.5%増）となりました。「セゾンの資産形成ローン」については、当連結会計年度の実行金額は991億円（前期比1.0%増）、貸出残高は7,292億円（前期末比1.7%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるファイナンス事業の債権残高は1兆1,847億円（前期末比6.9%増）、当連結会計年度における純収益は585億2百万円（前期比15.3%増）、事業利益は282億65百万円（前期比27.3%増）となりました。

※固定金利型住宅ローン市場の動向については、独立行政法人住宅金融支援機構が開示している「[フラット35]の申請戸数等について」を参照しております。

<不動産関連事業>

不動産事業、不動産賃貸事業等から構成されております。堅調な市況を背景に、実需向けの不動産を中心に需要が継続したものの、前期に物件販売が集中した影響等により、当連結会計年度の純収益は239億42百万円（前期比1.0%減）、事業利益は164億7百万円（前期比25.6%増）となりました。

<グローバル事業>

インド・東南アジア・ラテンアメリカ地域にてアンダーサブド層をメインターゲットとしたレンディング事業及びFintech、Web3領域を中心に有望なスタートアップやVCファンドへの投資を行うインベストメント事業を展開しております。インドのKisetsu Saison Finance (India) Pvt. Ltd.（以下「Credit Saison India」という。）では、これまで事業拡大の牽引役であった「パートナーシップレンディング」を含むシニア資金の提供モデルに加えて、Credit Saison Indiaが直接エンドユーザーに貸付を行う「ダイレクトレンディング」の強化に取り組んでまいりました。インド全土に設置した40以上の支店を拠点に展開している「ブランチレンディング」は、中小零細企業向けビジネスローンに加え有担保ローンなどを追加し商品の多角化を推進しました。また個人に向けた同社による直接貸付「エンベデッドファイナンス」では、大手携帯キャリアやECサイト事業者など提携パートナーを順調に増やしております。その結果、当連結会計年度での債権残高は2,152億円（貸倒引当金控除前）（前期末比20.6%増）となりました。また、2023年に新たに設立したブラジルとメキシコのレンディング子会社においても事業開発・組織体制両面で基盤構築を推進させ、順調に投融资実績を積み上げており、今後グローバル事業の次なる柱とすべくインドの事業モデルやノウハウ・知見を活用し、事業拡大を推進してまいります。

以上の結果、当連結会計年度における純収益は272億8百万円（前期比139.3%増）となりました。一方、インベストメント事業において出資先の評価損の計上、前期の保有ファンドの評価益計上の反動等により、事業利益は24億78百万円（前期比72.6%減）となりました。今後も国際統括会社であるSaison International Pte. Ltd.と連携のもと、グローバル事業全体の更なる収益拡大に向けた各国事業のスケールアップ及び管理体制の強化を進めてまいります。

<エンタテインメント事業>

アミューズメント事業等から構成されております。当連結会計年度は、イベントの復調によりチケット販売が好調に推移したことで、純収益は63億19百万円（前期比1.7%増）、事業利益は10億79百万円（前期比50.1%増）となりました。

(b)次期の見通し

当社グループは、2030年に目指す姿として、「GLOBAL NEO FINANCE COMPANY ～金融をコアとしたグローバルな総合生活サービスグループ～」を掲げ、単なるファイナンスカンパニーの領域に留まることなく、“お客さまニーズを起点”としたパートナーシップにより、「セゾン・パートナー経済圏」を構築し、ギブ&テイクが成り立つ関係を築きながら、グローバルにシナジーの発揮を目指してまいります。2030年に目指す姿の実現、「セゾン・パートナー経済圏」の構築を確かなものとするため、「国内事業の徹底的な筋肉質化」「各事業を加速させる銀行機能の活用と金融機能の増強」「インドを起点としたユニークなグローバル展開の進化と国内・海外双方向の融合」「事業戦略と連動した社員の成長と経営基盤の強化」を重点方針とする2027年3月期までの中期経営計画を策定しました。

以上を踏まえ、来期の連結業績予想は、純収益4,130億円、事業利益770億円、親会社の所有者に帰属する当期利益520億円を見込んでおります。

なお、本日公表しました2025年3月期を初年度とする2027年3月期までの中期経営計画にあわせて、中長期的視点での業績予想設定といたしたく、2025年3月期から第2四半期業績予想の開示を取りやめ、通期業績予想のみとさせていただきます。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債、資本の状況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して4,397億47百万円増加し、4兆3,358億52百万円となりました。これは主に、ショッピング取扱高の増加及びレンディング事業拡大に伴う貸付残高増加等により営業債権及びその他の債権が3,540億54百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して3,221億77百万円増加し、3兆6,182億40百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が2,436億21百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度末の資本合計は、前連結会計年度末と比較して1,175億70百万円増加し、7,176億11百万円となりました。これは主に、利益剰余金が614億39百万円増加したこと及びスルガ銀行㈱を処分先とする第三者割当による自己株式の処分等により、自己株式が149億1百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動に使用したキャッシュ・フローは、2,134億4百万円の支出（前連結会計年度は1,300億92百万円の支出）となりました。

これは主に、税引前利益979億52百万円の計上による収入がある一方で、営業債権及びその他の債権の純増額3,467億87百万円の支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動に使用したキャッシュ・フローは、857億54百万円の支出（前連結会計年度は438億28百万円の支出）となりました。

これは主に、定期預金の預入による451億42百万円の支出及び投資不動産の取得による360億21百万円の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動により得られたキャッシュ・フローは、2,466億99百万円の収入（前連結会計年度は2,245億36百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による1,672億74百万円の支出及び社債の償還による850億16百万円の支出がある一方で、長期借入れによる3,343億97百万円の収入、社債の発行による1,244億64百万円の収入によるものです。

以上の結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して、509億25百万円減少し、1,087億45百万円となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社では企業体質の強化と継続的な事業拡大に向けた取り組みが、株主価値の増大のために重要であると考えております。利益還元につきましては、これらを実現する内部留保金の充実を図る一方、株主の皆様へ適正かつ安定的、継続的な配当を行っていきたいと考えております。また、自己株式取得につきましては、投資機会、財務状況、株価水準等を総合的に勘案の上、機動的に実施してまいります。

この方針のもと、2024年3月期の連結業績を踏まえ、直近の配当予想から普通配当を5円増配し、期末配当金を1株当たり105円とさせていただきます。また、次期の配当に関しては、次期の業績予想などを踏まえ、1株105円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、グローバル展開の加速に向けた経営基盤強化等を目的とし、2019年3月期よりIFRSを適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 159,671 | 108,745 |
| 営業債権及びその他の債権 | 2,990,519 | 3,344,573 |
| 棚卸資産 | 133,247 | 153,773 |
| 営業投資有価証券 | 62,521 | 79,783 |
| 投資有価証券 | 74,394 | 89,261 |
| その他の金融資産 | 20,346 | 47,503 |
| 有形固定資産 | 28,753 | 30,296 |
| 使用権資産 | 11,044 | 15,828 |
| 無形資産 | 150,458 | 138,569 |
| 投資不動産 | 116,612 | 144,586 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 89,176 | 132,442 |
| 繰延税金資産 | 41,615 | 34,337 |
| その他の資産 | 16,714 | 16,151 |
| 売却目的で保有する資産 | 1,030 | — |
| 資産合計 | 3,896,105 | 4,335,852 |
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 253,329 | 322,746 |
| 金融保証負債 | 7,875 | 8,484 |
| 社債及び借入金 | 2,805,175 | 3,048,797 |
| その他の金融負債 | 19,606 | 22,038 |
| 未払法人所得税 | 10,385 | 12,311 |
| ポイント引当金 | 126,023 | 127,947 |
| 利息返還損失引当金 | 18,091 | 15,230 |
| その他の引当金 | 1,437 | 1,409 |
| 繰延税金負債 | 86 | 188 |
| その他の負債 | 54,051 | 59,086 |
| 負債合計 | 3,296,063 | 3,618,240 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 75,929 | 75,929 |
| 資本剰余金 | 83,560 | 93,178 |
| 利益剰余金 | 481,163 | 542,602 |
| 自己株式 | △62,668 | △47,767 |
| その他の資本の構成要素 | 20,317 | 41,110 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 598,301 | 705,053 |
| 非支配持分 | 1,739 | 12,558 |
| 資本合計 | 600,041 | 717,611 |
| 負債及び資本合計 | 3,896,105 | 4,335,852 |

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 収益 | | |
| ペイメント事業収益 | 218,258 | 232,765 |
| リース事業収益 | 12,048 | 12,542 |
| ファイナンス事業収益 | 50,754 | 58,502 |
| 不動産関連事業収益 | 58,715 | 56,380 |
| グローバル事業収益 | 11,078 | 25,036 |
| エンタテインメント事業収益 | 30,807 | 32,174 |
| 金融収益 | 877 | 2,915 |
| 収益合計 | 382,540 | 420,317 |
| (うち、金利収益 ※) | 118,520 | 144,150 |
| 原価 | | |
| 不動産関連事業原価 | 35,309 | 32,858 |
| エンタテインメント事業原価 | 24,593 | 25,854 |
| 原価合計 | 59,902 | 58,713 |
| 純収益 | 322,638 | 361,604 |
| 販売費及び一般管理費 | 228,367 | 242,778 |
| 金融資産の減損 | 34,611 | 38,285 |
| 金融費用 | 15,257 | 24,896 |
| 償却原価で測定する金融資産の 認識の中止により生じた利得 | 43 | 289 |
| 持分法による投資利益 | 5,982 | 29,262 |
| その他の収益 | 11,635 | 14,191 |
| その他の費用 | 1,017 | 1,433 |
| 税引前利益 | 61,044 | 97,952 |
| 法人所得税費用 | 17,183 | 24,667 |
| 当期利益 | 43,861 | 73,285 |
| 当期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 43,599 | 72,987 |
| 非支配持分 | 261 | 298 |
| 当期利益 | 43,861 | 73,285 |
| 1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益 | | |
| 基本的1株当たり当期利益(円) | 278.92 | 453.08 |
| 希薄化後1株当たり当期利益(円) | 278.75 | 452.69 |

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

税引前利益から事業利益への調整表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 税引前利益 | 61,044 | 97,952 |
| 調整項目(持分法による投資利益) | — | △21,989 |
| 調整項目(その他の収益) | △616 | △5,068 |
| 調整項目(その他の費用) | 825 | 1,276 |
| 金融資産に係る実効金利法適用による調整額 | △276 | △229 |
| 小計 | △67 | △26,010 |
| 事業利益 | 60,977 | 71,941 |

(3) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 当期利益 | 43,861 | 73,285 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融商品の公正価値の純変動額 | 1,311 | 9,098 |
| 確定給付制度の再測定 | - | △14 |
| 持分法によるその他の包括利益 | △754 | 927 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 負債性金融商品の公正価値の純変動額 | △0 | △9 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分 | 1,645 | 1,738 |
| 在外営業活動体の外貨換算差額 | 241 | 8,425 |
| 持分法によるその他の包括利益 | 20 | 830 |
| 税引後その他の包括利益合計 | 2,464 | 20,997 |
| 当期包括利益 | 46,325 | 94,282 |
| 当期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 46,041 | 93,969 |
| 非支配持分 | 283 | 312 |
| 当期包括利益 | 46,325 | 94,282 |

(4) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
|------------------------|----------------|--------|---------|---------|-------------|---------|-------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | | | |
| 2022年4月1日時点の残高 | 75,929 | 85,152 | 442,550 | △62,737 | 21,492 | 562,387 | 1,351 | 563,738 |
| 当期利益 | | | 43,599 | | | 43,599 | 261 | 43,861 |
| その他の包括利益 | | | | | 2,442 | 2,442 | 22 | 2,464 |
| 当期包括利益 | — | — | 43,599 | — | 2,442 | 46,041 | 283 | 46,325 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | | △1 | | △1 |
| 株式に基づく報酬取引 | | 182 | | 70 | | 253 | 0 | 254 |
| 配当金 | | | △8,600 | | | △8,600 | | △8,600 |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | | | 3,612 | | △3,612 | — | | — |
| 子会社の支配獲得に伴う変動 | | | | | | — | 100 | 100 |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | | △1,774 | | | △4 | △1,779 | 3 | △1,775 |
| 所有者との取引額合計 | — | △1,591 | △4,987 | 69 | △3,617 | △10,127 | 104 | △10,022 |
| 2023年3月31日時点の残高 | 75,929 | 83,560 | 481,163 | △62,668 | 20,317 | 598,301 | 1,739 | 600,041 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
|------------------------|----------------|--------|---------|---------|-------------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | | | |
| 2023年4月1日時点の残高 | 75,929 | 83,560 | 481,163 | △62,668 | 20,317 | 598,301 | 1,739 | 600,041 |
| 当期利益 | | | 72,987 | | | 72,987 | 298 | 73,285 |
| その他の包括利益 | | | | | 20,982 | 20,982 | 14 | 20,997 |
| 当期包括利益 | — | — | 72,987 | — | 20,982 | 93,969 | 312 | 94,282 |
| 自己株式の取得 | | | | △2,821 | | △2,821 | | △2,821 |
| 自己株式の処分 | | △2,173 | | 17,669 | | 15,495 | | 15,495 |
| 株式に基づく報酬取引 | | 276 | | 53 | | 330 | | 330 |
| 配当金 | | | △10,948 | | | △10,948 | △93 | △11,041 |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | | | △593 | | 593 | — | | — |
| 子会社の支配獲得に伴う変動 | | | | | | — | 297 | 297 |
| 子会社の支配喪失に伴う変動 | | | | | | — | 78 | 78 |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | | 11,474 | | | △783 | 10,691 | 10,222 | 20,913 |
| その他 | | 41 | △5 | | | 35 | | 35 |
| 所有者との取引額合計 | — | 9,618 | △11,547 | 14,901 | △189 | 12,782 | 10,505 | 23,287 |
| 2024年3月31日時点の残高 | 75,929 | 93,178 | 542,602 | △47,767 | 41,110 | 705,053 | 12,558 | 717,611 |

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前利益 | 61,044 | 97,952 |
| 減価償却費及び償却費 | 31,482 | 32,669 |
| 減損損失(又は戻入れ) | 649 | 604 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,970 | △4,106 |
| 支払利息 | 14,362 | 23,564 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △5,982 | △29,262 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | 130 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | △4,306 | △2,100 |
| 営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加) | △191,717 | △346,787 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △3,587 | △13,706 |
| 営業投資有価証券の増減額(△は増加) | △9,066 | △15,768 |
| 営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少) | 9,488 | 70,586 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 7,655 | 1,923 |
| 利息返還損失引当金の増減額(△は減少) | △5,975 | △2,861 |
| 金融保証負債の増減額(△は減少) | △1,008 | 608 |
| その他 | △96 | 7,734 |
| (小計) | △99,027 | △178,819 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,304 | 7,852 |
| 利息の支払額 | △13,555 | △22,697 |
| 法人所得税の還付額 | 215 | 715 |
| 法人所得税の支払額 | △23,028 | △20,454 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △130,092 | △213,404 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4,756 | △21,952 |
| 投資有価証券の売却等による収入 | 10,466 | 5,616 |
| 有形固定資産及び無形資産の取得による支出 | △15,636 | △19,273 |
| 有形固定資産及び無形資産の売却による収入 | 38 | 418 |
| 投資不動産の取得による支出 | △23,131 | △36,021 |
| 投資不動産の売却による収入 | — | 938 |
| 子会社の取得による支出 | △426 | △474 |
| 貸付けによる支出 | △15,908 | △13,724 |
| 貸付金の回収による収入 | 9,733 | 23,437 |
| 定期預金の預入による支出 | △1,972 | △45,142 |
| 定期預金の払戻による収入 | 2,136 | 21,001 |
| その他 | △4,372 | △576 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △43,828 | △85,754 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 4,284 | 14,498 |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少) | 24,000 | △44,212 |
| 債権流動化借入金(短期)の純増減額 (△は減少) | — | 7,000 |
| 債権流動化借入金(長期)による調達収入 | 69,255 | 52,284 |
| 債権流動化借入金(長期)の返済による支出 | △8,673 | △10,372 |
| 長期借入れによる収入 | 299,844 | 334,397 |
| 長期借入金の返済による支出 | △149,163 | △167,274 |
| 社債の発行による収入 | 54,563 | 124,464 |
| 社債の償還による支出 | △55,042 | △85,016 |
| リース負債の返済による支出 | △4,162 | △4,486 |
| 新株予約権の行使による収入 | 33 | — |
| 強制転換権付優先株式の払込による収入 | 1,852 | — |
| 非支配持分への子会社持分売却による収入 | — | 84 |
| 非支配持分からの払込による収入 | — | 20,997 |
| 非支配持分からの子会社持分取得による支出 | △3,654 | △110 |
| 自己株式の売却による収入 | — | 15,495 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △1 |
| 配当金の支払額 | △8,600 | △10,948 |
| その他 | — | △99 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 224,536 | 246,699 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 85 | 1,533 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 50,700 | △50,925 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 108,970 | 159,671 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 159,671 | 108,745 |

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは当連結会計年度より以下の基準を適用しております。

| 基準書 | 基準名 | 新設・改訂の内容 |
|---------|---------|-------------------------------------------------------------|
| IAS第1号 | 財務諸表の表示 | 重要な (significant) 会計方針ではなく、重要性がある (material) 会計方針の開示を要求する改訂 |
| IAS第12号 | 法人所得税 | リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化 |

上記基準書の適用による当社グループの連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(表示方法の変更)

13ページ (セグメント情報) に記載のとおり、当連結会計年度より、「ペイメント事業」に含まれていた「グローバル事業」を独立した報告セグメントに変更しております。このセグメントの表示方法の変更を反映させるため、連結損益計算書において、「グローバル事業」の収益を区分掲記しております。これにより、前連結会計年度の「ペイメント事業収益」が11,078百万円減少し、「グローバル事業収益」が同額増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に市場及び顧客提供サービス別を基礎として、それぞれの顧客と直結した事業活動を展開しております。これらを踏まえ、当社グループの報告セグメントは、市場及び顧客提供サービス別に「ペイメント事業」「リース事業」「ファイナンス事業」「不動産関連事業」「グローバル事業」「エンタテインメント事業」から構成されております。

ペイメント事業は、主に当社グループの主要セグメントであるクレジットカード事業及びクレジットカード事業と密接に関連する各種周辺事業から構成されております。

リース事業は、事務用機器等の賃貸を中心としたリース事業を展開しております。

ファイナンス事業は、信用保証事業及びファイナンス関連事業から構成されております。

不動産関連事業は、不動産事業及び不動産賃貸事業等から構成されております。

グローバル事業は、レンディング事業及びインベストメント事業を展開しております。

エンタテインメント事業は、遊技場の運営を中心としたアミューズメント事業を展開しております。

なお、当連結会計年度より、今後のグローバル展開拡大への取り組みに伴い、損益管理区分の見直しを行い「ペイメント事業」に含まれていたグローバル展開に関する事業及び関係会社について「グローバル事業」として独立して記載する方法に変更し、さらに、各セグメントの業績をより適切に評価するために、金融費用の配賦方法を変更し、合理的な基準に基づき各報告セグメントへ配賦しております。

上記のセグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に組替えて表示しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | ペイメント事業 | リース事業 | ファイナンス事業 | 不動産関連事業 | グローバル事業 | エンタテインメント事業 | 合計 | 調整額(注)2 | 連結 |
|-------------------|---------|--------|----------|---------|---------|-------------|---------|---------|---------|
| 収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する収益 | 218,845 | 12,048 | 50,754 | 58,716 | 11,368 | 30,807 | 382,540 | — | 382,540 |
| セグメント間の内部収益 | 1,377 | 1 | — | 415 | — | 0 | 1,793 | △1,793 | — |
| 計 | 220,222 | 12,049 | 50,754 | 59,131 | 11,368 | 30,808 | 384,334 | △1,793 | 382,540 |
| 純収益 | 220,222 | 12,049 | 50,754 | 24,177 | 11,368 | 6,214 | 324,786 | △2,148 | 322,638 |
| セグメント利益(事業利益)(注)1 | 10,141 | 5,182 | 22,211 | 13,064 | 9,039 | 719 | 60,359 | 618 | 60,977 |
| 調整項目 | — | — | — | — | — | — | — | — | 67 |
| 税引前利益 | — | — | — | — | — | — | — | — | 61,044 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

| | ペイメント事業 | リース事業 | ファイナンス事業 | 不動産関連事業 | グローバル事業 | エンタテインメント事業 | 合計 | 調整額(注)2 | 連結 |
|-------------------|---------|--------|----------|---------|---------|-------------|---------|---------|---------|
| 収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客に対する収益 | 233,506 | 12,542 | 58,502 | 56,382 | 27,208 | 32,174 | 420,317 | — | 420,317 |
| セグメント間の内部収益 | 1,730 | 1 | — | 301 | — | 0 | 2,034 | △2,034 | — |
| 計 | 235,237 | 12,544 | 58,502 | 56,684 | 27,208 | 32,174 | 422,351 | △2,034 | 420,317 |
| 純収益 | 235,237 | 12,544 | 58,502 | 23,942 | 27,208 | 6,319 | 363,754 | △2,150 | 361,604 |
| セグメント利益(事業利益)(注)1 | 19,270 | 4,355 | 28,265 | 16,407 | 2,478 | 1,079 | 71,856 | 84 | 71,941 |
| 調整項目 | — | — | — | — | — | — | — | — | 26,010 |
| 税引前利益 | — | — | — | — | — | — | — | — | 97,952 |

(注) 1 事業利益は、一定の調整項目を税引前利益に加減算することにより算出しております。調整項目は、収益費用の性質や発生頻度等を考慮の上、当社グループが業績の有用な比較情報を提供し、事業が管理されている方法を適切に反映するとの判断に基づき決定しております。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

セグメント利益（事業利益）から税引前利益への調整表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| セグメント利益（事業利益） | 60,977 | 71,941 |
| 金融資産に係る実効金利法適用による調整額 | 276 | 229 |
| 調整項目（持分法による投資利益） | — | 21,989 |
| 負ののれん発生益 | — | 21,989 |
| 調整項目（その他の収益） | 616 | 5,068 |
| 投資有価証券評価益（株式等） | 530 | 2,036 |
| 持分変動利益 | 1 | — |
| 固定資産売却益 | 23 | 685 |
| 固定資産交換差益 | — | 2,335 |
| その他 | 60 | 11 |
| 調整項目（その他の費用） | △825 | △1,276 |
| 関係会社株式売却損 | — | △130 |
| 非金融資産の減損損失 | △649 | △604 |
| 固定資産売却損 | — | △117 |
| 固定資産処分損 | △170 | △212 |
| その他 | △6 | △212 |
| 調整項目 合計 | 67 | 26,010 |
| 税引前利益 | 61,044 | 97,952 |

(非金融資産の減損)

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

重要な減損損失の計上はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

重要な減損損失の計上はありません。

(1株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

| | | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------------------------|-------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | (百万円) | 43,599 | 72,987 |
| 親会社の普通株主に帰属しない当期利益 | (百万円) | — | — |
| 基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 | (百万円) | 43,599 | 72,987 |
| 加重平均普通株式数 | (千株) | 156,318 | 161,090 |
| 基本的1株当たり当期利益 | (円) | 278.92 | 453.08 |

(2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

| | | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------------|-------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 | (百万円) | 43,599 | 72,987 |
| 当期利益調整額 | (百万円) | △26 | △62 |
| 希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 | (百万円) | 43,573 | 72,924 |
| 加重平均普通株式数 | (千株) | 156,318 | 161,090 |
| 普通株式増加数 | (千株) | — | — |
| 希薄化後の加重平均普通株式数 | (千株) | 156,318 | 161,090 |
| 希薄化後1株当たり当期利益 | (円) | 278.75 | 452.69 |

(重要な後発事象)

(自己株式取得の決議)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会において、下記のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

自己資本額の適正化に向けて、財務状況や株価状況等を総合的に勘案した上で、資本効率の向上を図るとともに将来の機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

(2) 取得の内容

| | |
|--------------|--------------------------------------------------|
| ① 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得する株式の総数 | 25,000,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合15.2%) |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 50,000,000,000円(上限) |
| ④ 取得期間 | 2024年5月16日～2025年5月15日 |
| ⑤ 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付け |

(ご参考) 2024年4月30日時点の自己株式の保有状況(単体)

| | |
|----------------------|--------------|
| 発行済株式総数 (自己株式を除く) | 164,654,928株 |
| 自己株式数 | 20,789,844株 |

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当事業年度 (2024年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 120,292 | 66,538 |
| 割賦売掛金 | 1,344,075 | 1,463,740 |
| 営業貸付金 | 1,106,631 | 1,137,021 |
| リース投資資産 | 262,297 | 280,687 |
| 営業投資有価証券 | 49,493 | 60,028 |
| 商品 | 1,285 | 2,352 |
| 貯蔵品 | 1,215 | 1,531 |
| 前払費用 | 2,102 | 2,633 |
| 短期貸付金 | 436 | — |
| 関係会社短期貸付金 | 376,792 | 460,826 |
| 未収入金 | 24,120 | 31,559 |
| その他 | 12,953 | 7,915 |
| 貸倒引当金 | △41,185 | △41,729 |
| 流動資産合計 | 3,260,513 | 3,473,106 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 5,211 | 5,177 |
| 車両運搬具(純額) | 0 | 0 |
| 器具備品(純額) | 1,983 | 2,280 |
| 土地 | 6,904 | 6,879 |
| リース資産(純額) | 255 | 90 |
| 建設仮勘定 | 46 | 573 |
| 有形固定資産合計 | 14,400 | 15,002 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 14 | — |
| ソフトウェア | 133,308 | 118,938 |
| リース資産 | 0 | — |
| ソフトウェア仮勘定 | 2,516 | 4,767 |
| その他 | 266 | 274 |
| 無形固定資産合計 | 136,105 | 123,979 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 68,697 | 79,357 |
| 関係会社株式 | 100,007 | 161,893 |
| 関係会社社債 | 450 | — |
| その他の関係会社有価証券 | — | 1,676 |
| 出資金 | 0 | 0 |
| 関係会社出資金 | 9,427 | 9,427 |
| 長期貸付金 | 10,076 | 10,076 |
| 関係会社長期貸付金 | 15,879 | 13,154 |
| 長期前払費用 | 6,554 | 6,570 |
| 差入保証金 | 2,650 | 1,133 |
| 繰延税金資産 | 33,490 | 30,666 |
| その他 | 5,428 | 4,873 |
| 貸倒引当金 | △506 | △9 |
| 投資その他の資産合計 | 252,156 | 318,818 |
| 固定資産合計 | 402,662 | 457,800 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 1,986 | 2,328 |
| 繰延資産合計 | 1,986 | 2,328 |
| 資産合計 | 3,665,162 | 3,933,236 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当事業年度 (2024年3月31日) |
|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 254,702 | 327,667 |
| 短期借入金 | 251,760 | 257,960 |
| 関係会社短期借入金 | — | 1,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 104,200 | 142,350 |
| 1年内償還予定の社債 | 85,000 | 60,000 |
| コマーシャル・ペーパー | 490,000 | 444,000 |
| 1年内返済予定の債権流動化借入金 | 6,986 | 27,456 |
| リース債務 | 185 | 85 |
| 未払金 | 3,445 | 3,738 |
| 未払費用 | 23,324 | 23,135 |
| 未払法人税等 | 7,608 | 5,167 |
| 契約負債 | 5,451 | 5,658 |
| 預り金 | 8,565 | 11,655 |
| 前受収益 | 1,048 | 2,271 |
| 賞与引当金 | 4,008 | 5,421 |
| 役員賞与引当金 | 77 | 91 |
| 利息返還損失引当金 | 5,665 | 4,121 |
| 商品券回収損失引当金 | 130 | 127 |
| その他 | 4,602 | 4,550 |
| 流動負債合計 | 1,256,761 | 1,326,458 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 448,000 | 508,000 |
| 長期借入金 | 1,117,329 | 1,186,479 |
| 債権流動化借入金 | 209,685 | 231,126 |
| リース債務 | 101 | 17 |
| 契約負債 | 1,668 | 1,268 |
| 債務保証損失引当金 | 7,802 | 7,348 |
| ポイント引当金 | 126,023 | 127,947 |
| 利息返還損失引当金 | 11,124 | 10,083 |
| 受入保証金 | 2,260 | 1,520 |
| その他 | 721 | 502 |
| 固定負債合計 | 1,924,717 | 2,074,293 |
| 負債合計 | 3,181,479 | 3,400,752 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 75,929 | 75,929 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 82,497 | 82,497 |
| その他資本剰余金 | 1,519 | — |
| 資本剰余金合計 | 84,017 | 82,497 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 3,020 | 3,020 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 308,455 | 327,455 |
| 繰越利益剰余金 | 51,849 | 56,740 |
| 利益剰余金合計 | 363,324 | 387,215 |
| 自己株式 | △62,383 | △44,662 |
| 株主資本合計 | 460,887 | 500,980 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 22,924 | 31,483 |
| 繰延ヘッジ損益 | △128 | 19 |
| 評価・換算差額等合計 | 22,796 | 31,503 |
| 純資産合計 | 483,683 | 532,483 |
| 負債純資産合計 | 3,665,162 | 3,933,236 |

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| 営業収益 | | |
| ペイメント事業収益 | | |
| 包括信用購入あっせん収益 | 142,253 | 151,064 |
| カードキャッシング収益 | 24,344 | 24,605 |
| 証書ローン収益 | 323 | 266 |
| 業務代行収益 | 27,376 | 27,986 |
| ペイメント関連収益 | 14,269 | 17,457 |
| ペイメント事業収益 | 208,567 | 221,381 |
| リース事業収益 | 12,102 | 12,634 |
| ファイナンス事業収益 | | |
| 信用保証収益 | 13,194 | 13,924 |
| ファイナンス関連収益 | 26,218 | 28,600 |
| ファイナンス事業収益 | 39,413 | 42,525 |
| 不動産関連事業利益 | | |
| 不動産関連事業収益 | 26 | 105 |
| 不動産関連事業原価 | 1 | 48 |
| 不動産関連事業利益 | 24 | 57 |
| 金融収益 | 5,995 | 7,269 |
| 営業収益合計 | 266,103 | 283,868 |
| 営業費用 | | |
| 販売費及び一般管理費 | 220,557 | 231,388 |
| 金融費用 | | |
| 支払利息 | 10,205 | 12,848 |
| その他 | 1,717 | 1,757 |
| 金融費用合計 | 11,923 | 14,606 |
| 営業費用合計 | 232,480 | 245,994 |
| 営業利益 | 33,622 | 37,873 |
| 営業外収益 | 10,007 | 8,616 |
| 営業外費用 | 205 | 331 |
| 経常利益 | 43,424 | 46,158 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 5,248 | 1,232 |
| 抱合せ株式消滅差益 | — | 359 |
| 関係会社株式売却益 | — | 63 |
| 固定資産売却益 | — | 17 |
| 特別利益合計 | 5,248 | 1,673 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 499 | 551 |
| 関係会社株式評価損 | — | 483 |
| 固定資産処分損 | 127 | 155 |
| 固定資産売却損 | — | 117 |
| 投資有価証券売却損 | — | 1 |
| 関係会社清算損 | 6 | — |
| その他 | — | 85 |
| 特別損失合計 | 633 | 1,394 |
| 税引前当期純利益 | 48,039 | 46,437 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,446 | 11,731 |
| 法人税等調整額 | 372 | △1,218 |
| 法人税等合計 | 13,819 | 10,512 |
| 当期純利益 | 34,220 | 35,924 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | | | |
|---------------------|--------|--------|----------|---------|-------|----------|---------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本合計 | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | | | 利益剰余金合計 |
| | | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | | |
| 当期首残高 | 75,929 | 82,497 | 1,539 | 84,036 | 3,020 | 297,455 | 37,230 | 337,705 | △62,453 | 435,218 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | | | 11,000 | △11,000 | — | | — |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △8,600 | △8,600 | | △8,600 |
| 当期純利益 | | | | | | | 34,220 | 34,220 | | 34,220 |
| 自己株式の取得 | | | 0 | 0 | | | | | △1 | △1 |
| 自己株式の処分 | | | △20 | △20 | | | | | 71 | 50 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | | | — |
| 当期変動額合計 | — | — | △19 | △19 | — | 11,000 | 14,619 | 25,619 | 69 | 25,669 |
| 当期末残高 | 75,929 | 82,497 | 1,519 | 84,017 | 3,020 | 308,455 | 51,849 | 363,324 | △62,383 | 460,887 |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|------------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 21,455 | 65 | 21,521 | 456,739 |
| 当期変動額 | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | — |
| 剰余金の配当 | | | | △8,600 |
| 当期純利益 | | | | 34,220 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 |
| 自己株式の処分 | | | | 50 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,469 | △194 | 1,274 | 1,274 |
| 当期変動額合計 | 1,469 | △194 | 1,274 | 26,943 |
| 当期末残高 | 22,924 | △128 | 22,796 | 483,683 |

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | | | |
|---------------------|--------|--------|----------|---------|-------|----------|---------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本合計 | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | | | 利益剰余金合計 |
| | | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | | |
| 当期首残高 | 75,929 | 82,497 | 1,519 | 84,017 | 3,020 | 308,455 | 51,849 | 363,324 | △62,383 | 460,887 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | | | 19,000 | △19,000 | — | | — |
| 会社分割による減少 | | | | | | | △428 | △428 | | △428 |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △10,948 | △10,948 | | △10,948 |
| 当期純利益 | | | | | | | 35,924 | 35,924 | | 35,924 |
| 自己株式の取得 | | | 0 | 0 | | | | | △1 | △1 |
| 自己株式の処分 | | | △2,177 | △2,177 | | | | | 17,723 | 15,546 |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | | 656 | 656 | | | △656 | △656 | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | | | — |
| 当期変動額合計 | — | — | △1,519 | △1,519 | — | 19,000 | 4,891 | 23,891 | 17,721 | 40,092 |
| 当期末残高 | 75,929 | 82,497 | — | 82,497 | 3,020 | 327,455 | 56,740 | 387,215 | △44,662 | 500,980 |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|------------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 22,924 | △128 | 22,796 | 483,683 |
| 当期変動額 | | | | |
| 別途積立金の積立 | | | | — |
| 会社分割による減少 | | | | △428 |
| 剰余金の配当 | | | | △10,948 |
| 当期純利益 | | | | 35,924 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 |
| 自己株式の処分 | | | | 15,546 |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 8,558 | 148 | 8,707 | 8,707 |
| 当期変動額合計 | 8,558 | 148 | 8,707 | 48,800 |
| 当期末残高 | 31,483 | 19 | 31,503 | 532,483 |

5. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

1. 新任取締役候補(2024年6月19日付予定)

取締役(兼)常務執行役員 足利 駿二

(現 株式会社セゾン・ベンチャーズ 代表取締役社長(兼) Fintertech株式会社 取締役)

取締役 干場 弓子

(現 International Publishers Association 日本代表理事(兼) 干場弓子事務所 代表(兼) 株式会社 BOW&PARTNERS 代表取締役社長)

※干場 弓子は、社外取締役の候補者であります。

2. 補欠監査役候補(2024年6月19日付予定)

補欠監査役 伊藤 孝明

(現 伊藤孝明公認会計士事務所 代表(兼) 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ ベンチャーパートナー(兼) 有限会社フロンティア伊藤 代表取締役(兼) 日本公認会計士協会千葉会 副会長(兼) インテリジェント・サーフェス株式会社 社外監査役(兼) 船橋市 包括外部監査人)

3. 退任予定取締役(2024年6月19日付予定)

取締役 大槻 奈那

※大槻 奈那は社外取締役であります。

(2) その他

該当事項はありません。